原木及び木材製品の流通に関する見通し調査（令和５年３月実施分）

１．調査対象　道産針葉樹原木の消費量が概ね年間１千m3以上の製材工場及び合板工場（調査対象工場数：９７）
２．調査実施時期　令和５年３月
３．調査の内容　（原料在庫状況）前年同時期と比べた認識について選択式（「多い」「少ない」「変わらない」）により調査
（製品の荷動き）前年同時期と比べた認識について選択式（「良い」「悪い」「変わらない」）により調査
４．企業判断指数の算出方法
［（回答全体のうち「多い」「良い」と回答した企業の比率（％））－（回答全体のうち「少ない」「悪い」と回答した企業の比率（％））］
（最大値１００／最小値－１００）
５．調査結果（回答工場数：８９社 ／ 回答率：９１．８％）

【①原料在庫状況（トドマツ）】

企業判断指数　（**太字**は調査時点の現状認識、*斜体文字*は見通し）

調査時点	2022.4-6	2022.7-9	2022.10-12	2023.1-3	2023.4-6	2023.7-9
R4.6	**-15**	*-33*	*-50*	－	－	－
R4.9	－	**-8**	*-12*	*-24*	－	－
R4.12	－	－	**-2**	*-5*	*-14*	－
R5.3	－	－	－	**7**	*0*	*-10*

原木在荷量（「林産工場動態調査」より）※月平均　（m3）

	2022.4-6	2022.7-9	2022.10-12	2023.1-3	2023.4-6	2023.7-9
当年	175,573	178,480	181,444	－	－	－
（前年）	134,141	147,619	135,152	159,675	175,573	178,480
対前年比	131%	121%	134%	－	－	－

（概況）
原木在庫は引き続き前年を上回る状況。合板需要低下による安定入荷を見込む一方、需要減少に伴う在庫過多との声も。
（回答企業の主なコメント）
動き良くない/パルプ材は用途が多く不足/価格落ち着いているが不足感消えない/入荷増える予想/在庫過剰/融雪早く山土場在庫多い/原木は不足しない

【②製品の荷動き（トドマツ）】

企業判断指数　（**太字**は調査時点の現状認識、*斜体文字*は見通し）

調査時点	2022.4-6	2022.7-9	2022.10-12	2023.1-3	2023.4-6	2023.7-9
R4.6	**21**	*14*	*-10*	－	－	－
R4.9	－	**-10**	*-35*	*-42*	－	－
R4.12	－	－	**-47**	*-66*	*-63*	－
R5.3	－	－	－	**-67**	*-67*	*-51*

原木消費量（「林産工場動態調査」より）　（m3）

	2022.4-6	2022.7-9	2022.10-12	2023.1-3	2023.4-6	2023.7-9
当年	239,244	240,390	231,526	－	－	－
（前年）	217,827	231,202	249,280	209,572	239,244	240,390
対前年比	110%	104%	93%	－	－	－

（概況）
原木消費量は前年を下回る状況。輸入材や住宅着工減少の影響で荷動き悪く、先が読めない厳しい状況との声も多い。
（回答企業の主なコメント）
厳しい状況が続くが需要回復後は品薄が予想される/値崩れが生じている/住宅着工低下により下落の見通し/動きは悪いまま/動きが読めない/依然として製品需要は落ち込んでいる

【③原料在庫状況（カラマツ）】

企業判断指数　（**太字**は調査時点の現状認識、*斜体文字*は見通し）

調査時点	2022.4-6	2022.7-9	2022.10-12	2023.1-3	2023.4-6	2023.7-9
R4.6	**-52**	*-65*	*-71*	－	－	－
R4.9	－	**-52**	*-54*	*-56*	－	－
R4.12	－	－	**-41**	*-33*	*-31*	－
R5.3	－	－	－	**-8**	*-17*	*-25*

原木在荷量（「林産工場動態調査」より）※月平均　（m3）

	2022.4-6	2022.7-9	2022.10-12	2023.1-3	2023.4-6	2023.7-9
当年	155,564	153,818	144,911	－	－	－
（前年）	206,179	175,588	132,958	148,710	155,564	153,818
対前年比	75%	88%	109%	－	－	－

（概況）
製品需要の低下や合板需要の減少により、原木在庫は回復傾向。
（回答企業の主なコメント）
合板用原木の動き悪い/原木不足気味/価格は値下がりの気配が無い/合板需要低迷により原木入荷が増加/仕入れコストは下がらない/原木単価は高止まり

【④製品の荷動き（カラマツ）】

企業判断指数　（**太字**は調査時点の現状認識、*斜体文字*は見通し）

調査時点	2022.4-6	2022.7-9	2022.10-12	2023.1-3	2023.4-6	2023.7-9
R4.6	**44**	*29*	*0*	－	－	－
R4.9	－	**21**	*2*	*-17*	－	－
R4.12	－	－	**-27**	*-49*	*-45*	－
R5.3	－	－	－	**-76**	*-73*	*-53*

原木消費量（「林産工場動態調査」より）　（m3）

	2022.4-6	2022.7-9	2022.10-12	2023.1-3	2023.4-6	2023.7-9
当年	220,015	211,953	204,892	－	－	－
（前年）	247,983	253,074	227,049	212,331	220,015	211,953
対前年比	89%	84%	90%	－	－	－

（概況）
原木消費量は引き続き前年を下回る状況。ラミナ・梱包材とも荷動き悪く、価格の低下を指摘する声が多い。
（回答企業の主なコメント）
ラミナ価格は今後も値下がり予定。梱包材他は変わりない/ラミナ、梱包とも荷動き悪く値下がり続く/製品の荷動き不透明/需要落ちており回復の兆しは見えない

北海道水産林務部林務局 林業木材課 林業金融係
電話：０１１－２０６－６５７８

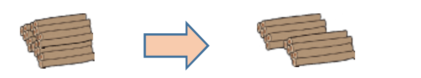
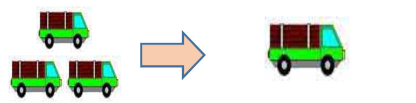
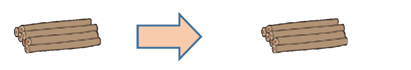
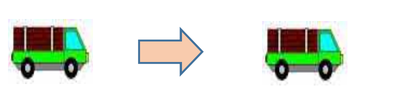
道内の木材需給の見通し（令和5年3月調査分）

－令和５年4月公表－

北海道水産林務部林務局林業木材課
北海道森林管理局森林整備部資源活用第一課

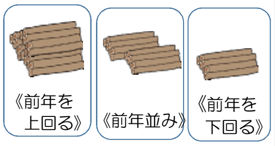
原木在庫・製品荷動き

前年同時期と比較した製材・合板工場の見通し（原木及び木材製品の流通に関する調査（北海道）による）

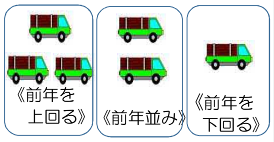
	《1～3月》　《4～9月見通し》	
トドマツ		○ 製材、合板工場の「原木在庫」は前年を上回っているが、4月以降は前年並の見通し。
		○ 製材、合板工場の「製品荷動き」は原木消費量での判断では前年を上回るが、４月以降は前年を大きく下回る見通し。
カラマツ		○ 製材、合板工場の「原木在庫」は前年を下回っており、４月以降も前年を下回る見通し。
		○ 製材、合板工場の「製品荷動き」は原木消費量での判断では前年を大きく下回り、４月以降も前年を大きく下回る見通し。

《凡　例》

《原木在庫》

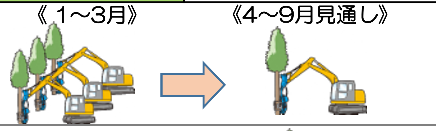
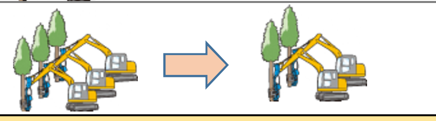


《製品荷動き》

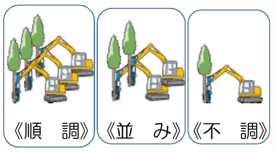


素材生産動向

前月と比較した林業事業体の見通し（素材生産動向調査（北海道森林管理局）による）

	《1～3月》　《4～9月見通し》	
トドマツ		○素材生産動向は、「順調」19%、「並み」50%、「不調」31%となっており、不調の見通しに下降。
カラマツ		○素材生産動向は、「順調」26%、「並み」49%、「不調」24%となっており、並みの見通し。

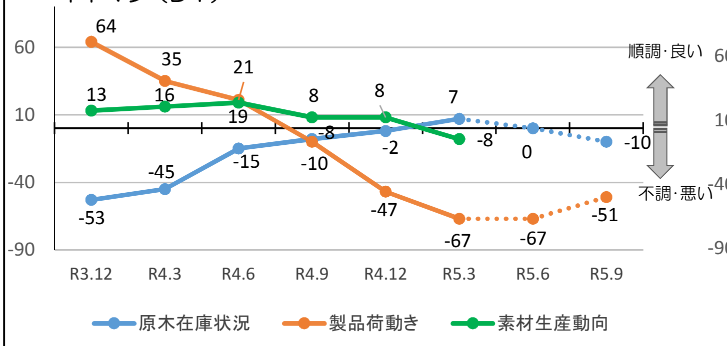
《凡　例》

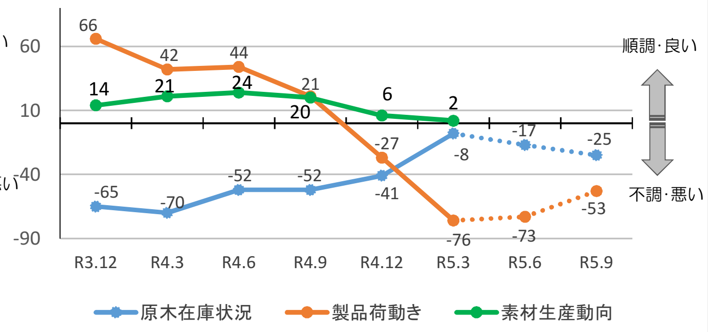


素材生産と製材・合板工場の原木在庫・製品荷動きのDI

〇素材生産のDIは、前月と比較した判断指数
〇原木在庫、製品荷動きのDIは、前年同時期と比較した判断指数　※点線は今後の見通し

※「判断指数（ＤＩ）」＝（「順調・良い」とした比率（％））－（「不調・悪い」とした比率（％））



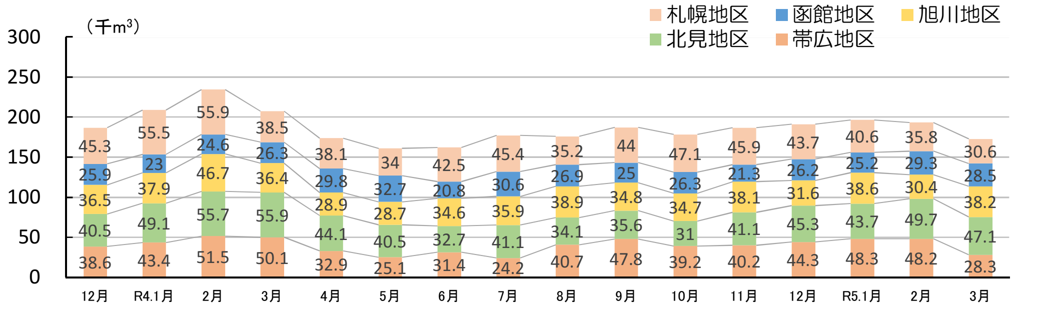


《参　考　情　報》

注：回答のあった北海道登録林業事業体の数値で全道の素材生産量の合計数値ではありません。

素材生産量の推移

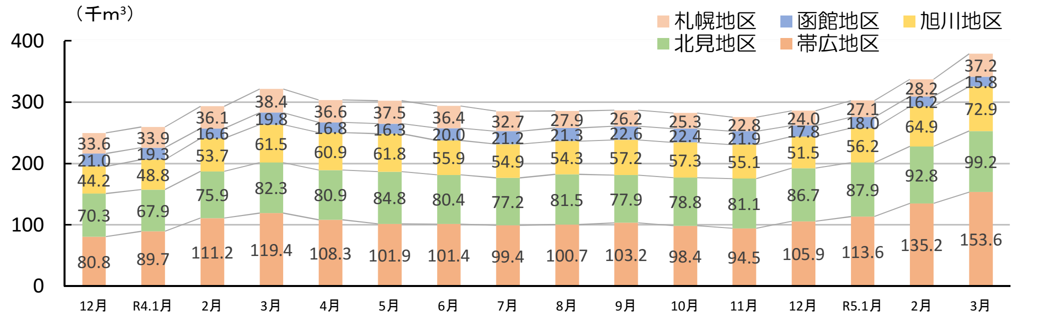
・3月の素材生産量は、前月比20.7千m³減の172.7千㎥
・4月の素材生産量は、16.3千m³減の156.4千m³の見通しで、函館地区以外で減る見通し



出典：素材生産動向調査（北海道森林管理局）による

製材工場の原木在庫量の推移

・３月のトドマツ原木在庫量は前年同月を上回り、原木消費量は前年同月を下回る見込み
・３月のカラマツ原木在庫量は前年同月を上回り、原木消費量は前年同月を下回る見込み



出典：製材工場動態調査（北海道）による　注：道内のカラマツ、トドマツ製材工場の合計数値でR5.1～3月は速報値でエゾマツを含む

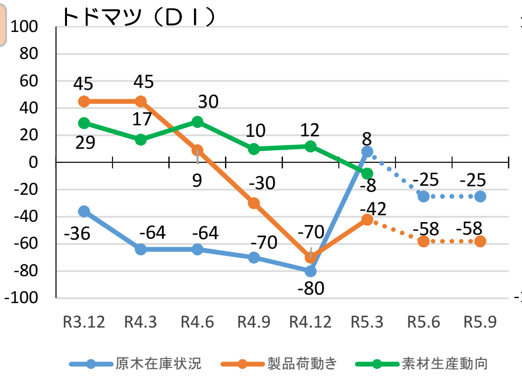
素材生産と原木在庫・製品荷動きのDI（地区別）

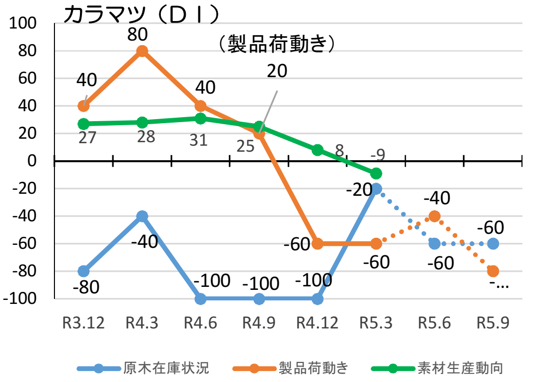
〇素材生産のDIは、前月と比較した判断指数　※点線は今後の見通し
〇原木在庫、製品荷動きのDIは、前年同時期と比較した判断指数

札幌地区（石狩･空知･胆振･日高）

【トドマツ】
- 素材生産は、不調の見通しに下降
- 原木在庫は前年を下回り、製品荷動きは前年を大きく下回る見通し

【カラマツ】
- 素材生産は、不調の見通しに下降
- 原木在庫は前年を下回り、製品荷動きは前年を大きく下回る見通し

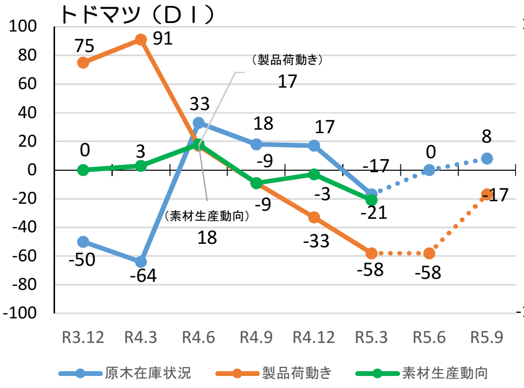


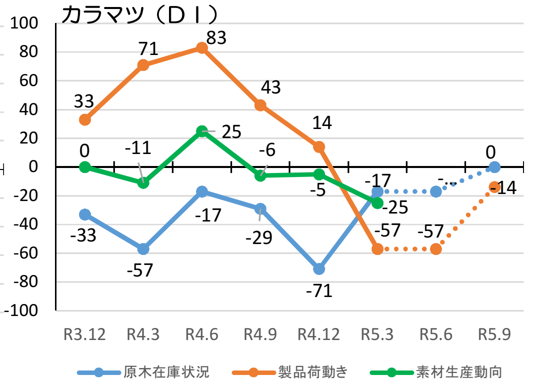


函館地区（渡島･檜山･後志）

【トドマツ】
- 素材生産は、不調の見通しに下降
- 原木在庫は前年並で、製品荷動きは前年を下回る見通し

【カラマツ】
- 素材生産は、引き続き不調の見通し
- 原木在庫は前年を下回り、製品荷動きも前年を下回る見通し

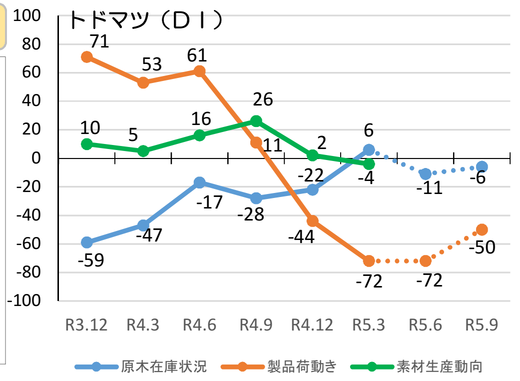


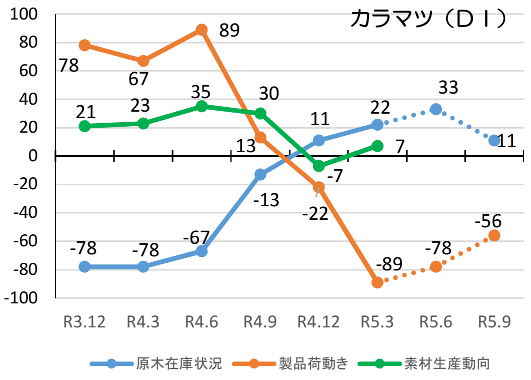


旭川地区（上川･留萌･宗谷）

【トドマツ】
- 素材生産は、並の見通しに下降
- 原木在庫は前年並で、製品荷動きは前年を大きく下回る見通し

【カラマツ】
- 素材生産は、順調の見通しに回復
- 原木在庫は前年を上回り、製品荷動きは前年を大きく下回る見通し

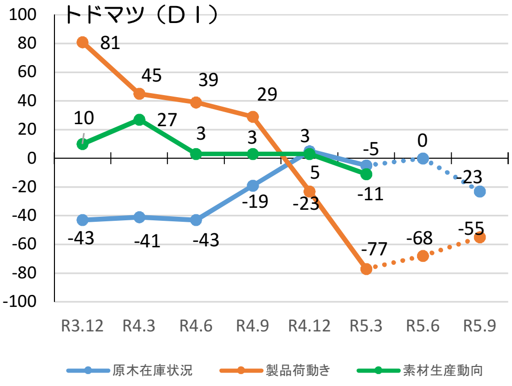


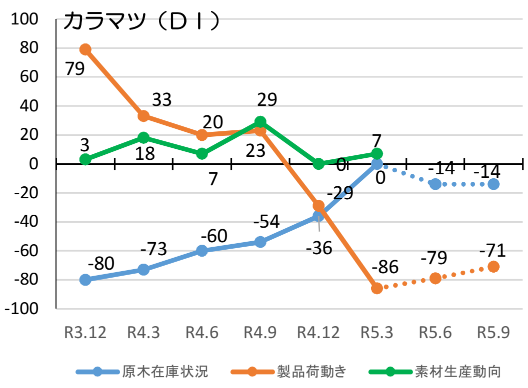


北見地区（オホーツク）

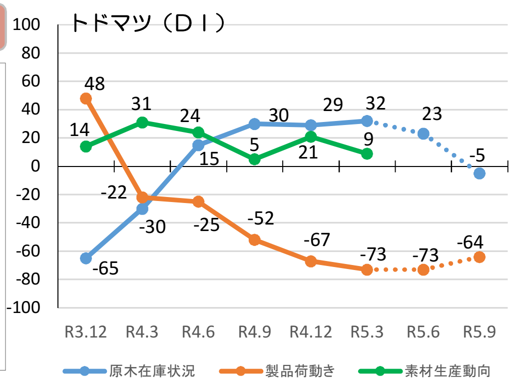
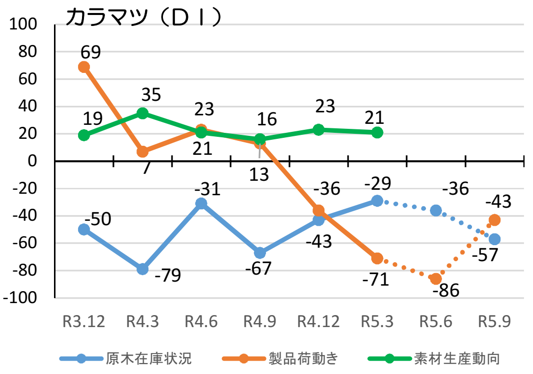
【トドマツ】
- 素材生産は、不調の見通しに下降
- 原木在庫は前年を若干下回り、製品荷動きは前年を大きく下回る見通し

【カラマツ】
- 素材生産は、引き続き順調の見通し
- 原木在庫は前年を若干下回り、製品荷動きは前年を大きく下回る見通し





帯広地区（十勝･釧路･根室）

【トドマツ】
- 素材生産は、引き続き順調の見通し
- 原木在庫は前年を上回り、製品荷動きは前年を大きく下回る見通し

【カラマツ】
- 素材生産は、引き続き順調の見通し
- 原木在庫は前年を下回り、製品荷動きは前年を大きく下回る見通し